

学校法人 滋慶学園 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2022年 6月 6日実施】

2021年度自己点検自己評価(2021年年4月1日～2022年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4	<p>学校法人滋慶学園 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校は、学校法人滋慶学園グループ(※1)に属し、「職業人教育を通じて社会に貢献していく」ことをミッション(使命)としている。</p> <p>「3つの建学の理念」(「実学教育」(※2)「人間教育」(※3)「国際教育」(※4))を実践し、「4つの信頼」(①学生・保護者からの信頼 ②高等学校からの信頼 ③産業界からの信頼 ④地域からの信頼)を得られるように学校運営をしている。</p> <p>建学の理念に基づき、福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校は、『音楽&エンターテインメントを通して、豊かな「創造力」で人に喜びや感動を与えられる「即戦力」の人材として就職&デビューする』ことを目的に学校運営をしている。</p> <p>現在、音楽&エンターテインメント業界を取り巻く社会の環境は、テクノロジーの進化に伴い大きく変化している。本校の『産学連携教育システム』により、業界に必要な人材を業界と共に育成していくを教育の柱にし、業界・企業との連携を深め人材の育成を実現してきた。</p> <p>また社会人基礎力はもちろんのこと、現場で求められる最新の知識・技術の他に、業界の変化に対応できるテクノロジー、コミュニケーションツールとしての英語力、マネジメントを学ぶ必要性を背景に、本校では2年制課程のみならず、3年制課程と2021年度4月より開講した4年制課程も設置し、業界が必要とする質の高い人づくりをする為の教育の充実を図っている。</p>	<p>(※1)「学校法人 滋慶学園グループ」 1976年の創立以来、「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッションに掲げ、全国に専門学校・教育機関を設置し、業界で即戦力となる人材育成のため、建学時から変わらない「3つの理念」(実学教育、人間教育、国際教育)と「4つの信頼」(業界からの信頼、高校の先生からの信頼、学生・保護者からの信頼、地域からの信頼)を実践することで、理想の教育実現を目指す。医療・福祉・美容・調理・製菓・バイオ・スポーツ・クリエイティブ・エコ・音楽・ダンス・ホテル・IR等、多岐にわたる分野で北海道から福岡まで84校(2021年3月時点)を有する。</p> <p>(※2)「実学教育」 「社会で即戦力となりうる人材には、技能を身につけさせること」を前提に、各業界において現在もっとも求められている知識・技能の教育を行う。現場で実践的に学びプロの経験を積む「産学連携 企業プロジェクト」を主とした教育を実施。 上記を踏まえ、FSMでは職業により修業年限を分け専攻を設置。特に、テクノロジー・コミュニケーションツールとしての英語力・マネジメント(リーダーシップ)を主軸に学ぶ4年制専攻を設置。音楽業界を構成する「人」に着目しアーティスト(クリエイター)とそれを支えるスタッフの両視点での人材を育成する。2021年度はSONY CSLを筆頭に様々な企業と連携した授業を実施した。</p> <p>(※3)「人間教育」 スペシャリストとして将来を嘱望され人材を育成するために、人間資質の向上を図る独自の教育システムにより、心豊かな人格の形成に力を注ぐ。開校以来、『今日も笑顔で挨拶を』を標語に掲げ、他人への思いやりの気持ちやコミュニケーション能力、リーダーシップがとれる対人スキル等を身につけ、同時にプロ・社会人としての身構え、心構え・気構えを養成する。</p> <p>(※4)「国際教育」 グローバル化している現代社会において、広く国際的に通用する人材の養成をめざす。コミュニケーションツールとしての英語力を身につけるだけでなく、広い視野でモノを捉える国際的感性を養う。主な取り組みとしては、オンラインを活用しNY姉妹校とNY SUMMER CAMPを実施。コロナ禍で海外研修が延期となる中でも積極的に海外と連携した学びの場を提供した。今後は単発の取り組みではなく通常授業週に組み込み通年を通じた海外との学びの場を構築していく。</p>	4	<p>・とても素晴らしい理念なので、運営側、講師側だけでなく、学生にもしっかりと浸透する形にしていく事を一緒に取組みたいです。</p> <p>・挨拶やメール送信等、社会人としてのマナーもご指導いただいております。感謝しております。英語の授業も充実しており、先日、息子がネットで外国人の方とゲームでコミュニケーションをとっており、英語力が上がっているのを実感しました。</p> <p>・ここ2年間コロナ過のため教育活動に影響があったと思うが、地域とのつながりの活動は今後とも継続してほしい。</p>
	1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか					
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか					
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか					
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4	<p>諸環境の変化に対応できるように、滋慶学園グループが毎年、長期・中期・短期展望をし「5カ年計画」を明示している。それを受け、滋慶COMグループに属する各学校が自校における展望を具体的に、将来を見据えた計画として「事業計画」を毎年作成。この事業計画書が各学校における運営の核となるものである。</p> <p>事業計画は、法人常務理事会、法人理事会の決議を受け、承認を得ることになっている。それを以て、各学校では毎年1～3月に事業計画を全教職員へ周知徹底するための研修も行っている。事業計画においては、グループ全体の方針や方向性、組織、各部署における目標や取り組み、職務分掌、各種会議及び研修等々が明確に示されている。</p> <p>運営組織は、事業計画の核をなす組織目的、運営方針、実行方針と実行計画に基づいたものである。単年度の運営も、中期計画の視点にたって行われる。事業計画書の組織図には学校に係わる人材が明記され、誰もが全員の組織上の位置づけを理解できるようになっている。学校が最も大切にしていることとして、滋慶学園グループの長期・中期・短期の事業計画に沿って、採用と人材育成行い、様々な研修において目標達成に向け、スタッフのスキル面とマインド面の向上を図り、また関わる全ての人が学校の方向性、学校の方針の実現に向けて意思統一を図る為に、各種研修や会議、ミーティングにより、コミュニケーションの重要性を確認している。</p>	<p>本校における事業計画書は、広報・教務・就職と、学校における全ての部署について考えられており、教職員が部署毎に同じ方針・考え方を理解し、計画に基づき徹底し遂行している。学校全体の運営、あるいは各部署の運営が正しく行われるために、様々な研修や会議が設けられ、この研修、会議を通じて個人個人の目標設定及び業務への落とし込みを行っている。</p> <p>更に学校全体として「3つのポリシー(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)」を掲げ、全職員と共有が出来ている。</p> <p>また教職員だけでなく、円滑に運営していく為にはシステムの開発を含めて関連企業との関係も重要になってくる為、その関係性やシステムの強化に努めている。特に予算に関しては、財務担当の関連企業との関係を更に深く保ち、学校運営に反映している。</p>	4	<p>・コロナ過において、なかなか見通しを立てるのが難しい中でしっかりと先を見据えて素晴らしいと思います。</p>
	3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか					
	4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか					
	4-2 学校運営のための組織を整備しているか					
	5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか					
	6-1 意思決定システムを整備しているか					
	7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか					

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
3 教育活動	8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3	<p>「職業人教育」は常に業界と密接な関連を持たなければ、教育目標、育成人材像は正しく方向づけられないと考えており、業界の人材行動を常にキャッチし、その変化に対応して養成目的や教育目標の見直しを毎年実施している。本校は教育システムとして、独自の「産学連携教育システム」を構築しており、このシステムにより、業界と乖離することなく、業界で即戦力となりうる人材を育成し、輩出できている。</p> <p>教育目標達成のためのカリキュラムは、入学前から卒業までを体系的に編成されているが、常に教育部会等で研究や見直し等を行っている。カリキュラムは学科に関わるもののみならず、社会的・職業的自立を目指し「キャリア教育」の視点に立ったものになっている。</p> <p>「教育課程編成委員会」を設置し、現状の業界に適した委員を選出。毎年最低2回開催し、業界からの意見を積極的に取り入れ、カリキュラムに反映している。特に現状テクノロジーの進化に伴い業界が大きく変化し、求められる人物像も変化してきているので、委員の方々も増員し4年制教育についても多くの意見を取り入れ反映に努めている。</p> <p>週1回の「ホームルーム(キャリア教育)」を実践し、その中で人間教育、キャリア形成に努めるとともに、資格等の取得についても明確に指導している。</p> <p>授業改善、教職員・講師の資質向上等を目的とし、授業評価(授業アンケート等)を前期・後期にて実施しているが、これを通して講師や学生の状況を正確に把握し、総合的な判断ができる要因となっている。</p> <p>成績評価・単位認定の基準を明確にし、学生指導を行っているが、明確な基準と共に、柔軟な対応ができる余地を残すことで、全ての学生が学科の目標を達成した上で、進級・卒業できる体制を作っている。資格取得については、業務を行う上で必要な資格、就職に有利な資格という範囲で取得に向け、支援を行っている。</p>	<p>滋慶COMグループの音楽系全校から構成する「パフォーミングアーツ教育部会」を設置し、システムの共有化、レベル向上化を図りその方針に沿ってFSMでも取り組みを実施している。2021年度の主な取り組みは下記となる。</p> <p>①時代に合った教育課程の見直しと各職業における適切な修業年限の検討 教育課程に関しては全ジャンルIT(PC)スキル必須の時代においてこれまで取り組んできたOffice・一部Adobe授業の実施を見直し、映像コンテンツの作成スキルに主軸においたカリキュラムを実施していくことを決定し2022年度よりスタートしている。 また、これまでの学びの内容で問題のない職業に関する専攻は2年制のまま据え置すが、テクノロジーの発達により新たに登場してくる職業に関しては、3年制・4年制へ移行し、テクノロジー・コミュニケーションツールとしての英語力・企画力／運営力／集客力のマネジメントの3つを軸としたカリキュラムを業界のアドバイスを基に作成している。 2021年度より、少人数英語教育「グローバルコミュニケーション」を実施。レベル分け少人数授業(3レベル／11名クラス)として開講し、TOEICテストにも前期後期内で定期的に取組みを行なった。2022年度は2021年度を踏まえて能力を4レベルに分け最大クラス人数も15名として実施している。</p> <p>②キャリア形成のためのさらなる産学連携 FSMでは職業人教育の一環としてキャリア教育すなわち社会で生きていくために必要な力を身につけるため、産学連携教育=企業プロジェクトに数多く取り組んでいる。2021年度は、32プロジェクトを実施し、その取り組みの成果はJESC候補作品プレゼンテーションで業界審査員に向け発表を行い高評価をいただいた。</p> <p>社会人としてのホスピタリティスキルの習得を目的としたアソシエイトホスピタリティ検定やAIへの理解を資格として認定するMicrosoft Azure Fundamentals (AI-900)への取り組みを行なった。資格指導の体制として、オンデマンドを活用し繰り返し学べる環境を構築。</p> <p>③理念／考え方の統一と共有 職員の資質向上の取り組みとして、業界セミナーを実施。業界の変化やトレンドを理解し、時代の変化や業界の変化に対応できるよう年間スケジュールを組んで実施している。また、学内での理念・考え方の共有の場として勉強会を実施しているが、2022年度はさらなる資質向上を目指し、スタッフの学びの事業計画を構築しスケジュールに沿って実施していく。</p>	3	<p>・講師会での講演等、講師の資質向上が図られていると存じます。毎回興味深く参加させて頂いています。</p> <p>・講師研修会が増えて、非常勤講師としてはとても役に立っています。ITやマネジメントにおいても今後は非常勤講師一同で勉強し統一言語を持っておかないといけないと思います。</p> <p>・英語の授業が本年度か半分に減ったこと、クラスのレベルが下がったとのことに不安を感じている。</p> <p>・即デビューはなかなか困難だと思うが、何かしらの形での就職率の向上の取組に期待したい。</p>
	8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか					
	9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか					
	9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか					
	9-3 キャリア教育を実施しているか					
	9-4 授業評価を実施しているか					
	10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか					
	10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか					
	11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけているか					
	11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか					
12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか						
12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか						
12-3 教員の組織体制を整備しているか						
4 教育成果	13-1 就職率の向上が図られているか	3	<p>就職においては開校以来、就職率(就職者÷就職希望者)100%を達成しているが、専門就職率(業界就職者数÷就職者数)・就職対象率(就職者数÷在校生数)の向上も課題として取り組んでいる。入学から卒業時まで職業人教育の実践を、就職活動から就職達成へ繋げていくことが業界からも要求されている。就職希望者については、必要な資格、取っておくべき資格においては特別講義等も実施し取得に努めている。</p> <p>デビューにおいては希望者全員がデビュー(芸能プロダクション等と契約)に至ってはいないが、学修成果としては業界からの評価も得ており、一定の成果は出ていると思われる。在校時の2年間(一部3年間)だけではデビューへの限界もあり卒業後のフォロー体制の充実も更なる向上が課題と言える。</p> <p>今年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの影響により就職等に多大な影響を与えたが、卒後も最後の内定獲得まで引き続き支援していく。</p> <p>また卒業生の活躍も企業との連携に努めたり、年に一度同窓会を開き現状の活躍をヒアリングするなど、就職・デビュー担当者が主となり把握している。</p>	<p>就職・デビューについては、入学前教育(プレスクール)での指導が必要であり入学予定者には事前授業を実施している。内容は業界で求められる技術や知識は勿論だが、勤労観や職業観といったキャリア教育についても注力している。プロミュージシャン科やダンス&アクターズ科の主な卒業進路におけるデビュー決定(芸能プロダクションとの契約等)は企業招聘による学内オーディションの開催や企業実習で多くのチャンスを設けることで成果は出ている。</p> <p>在学中から早期就職決定(内定獲得)を意識させるよう、企業による特別講義等で知識や技術ではない部分(社会人としての身構え、気構え、心構え)を植え付けさせることにも努め、専門就職率の向上を図っている。</p> <p>※免許・資格には、協会等が業界従事者資格として取得の傾向にはあるが、義務付け等には至ってはいない。しかし就職応募の際の他学歴者との差別化においても専門学校生としての独自性が出せる為、取得については奨励している。</p>	3	<p>・就職を希望するが、就職に対してあまり意欲的ではない学生も見受けられます。我々講師も含め、就職に対しての意識を強めていく指導を心がけたい。</p> <p>・ヴォーカルの卒業生はデビューだけでなくプライダルでの演奏やスクールの講師などいろいろと学校側からご紹介実績があるようです。</p> <p>・息子に先輩は卒業後どうしているのか聞いたところ、あいまいなこともあり、将来について少し不安がある。</p>
	14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか					
	15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか					

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
5 学生支援	16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3	<p>学生が目標を達成するための支援には、学業の面と生活環境面を整備していくことで支援に繋がると考える。本校でも多くの支援体制を築き上げているが、支援はあくまでも支援であり、学生本人が自覚を持たない場合、支援は効果がない。それゆえ、学生支援はまず学生の自立的行動を促すことから始めている。しかし、自立的行動を中々取ることが出来ない学生に対しては、担任をはじめとする教職員から積極的な支援に努めている。</p> <p>学生支援には、以下様々なものがある。</p> <p>① 就職、デビュー 就職についてはキャリアセンター、デビューについてはデビューセンターを企業からの求人・オーディション情報の窓口として設置している。また担任および講師との強い連携をとりながら、就職、デビューの相談、斡旋、面接他各種指導などの支援をしている。</p> <p>② 退学率低減に向けて 学生の相談について、基本的には担任が行うが、担任にも相談できないと考える悩みはJTSC(滋慶トータルサポートセンター)というサポート企業と連携し、その解決にあたっている。このことで退学率の低減にも努めている。留学生に対しては、担当を設け、在籍管理や生活指導を行っている。</p> <p>③ 経済支援 学生支援機構の奨学金のほか、新たに本校も対象校となっている「修学支援金制度」を促し支援対策としている。また「学費サポートプランのご案内」の冊子を作成すると共に、分納や延納など全ての経済的支援ができるように努めると同時に、データの管理もコンピュータ管理できている。</p> <p>④ 健康管理 毎年実施している健康診断の他に、健康面をサポートする目的で学校グループで慶生会クリニックという歯科、内科の2診療科目のクリニックを運営している。</p> <p>⑤ 生活環境支援 サポート企業のジケイ・スペース(株)により、専用寮を運営・管理しており、学生指導をはじめ、利用状況や充足数などの情報も明確になっている。</p> <p>⑥ 課外活動 福岡の姉妹校合同でクラブ活動に取り組んでおり、予算管理から引率や大会への参加や年間の成績管理などクラブ活動担当者により行われている。(今年度は新型コロナウイルスの影響により活動は自粛。)</p> <p>⑦ 保護者との連携 学生支援のひとつには、保護者への連絡と連携が重要である。本校では「4つの信頼」というコンセプトを掲げているが「学生・保護者からの信頼」として、保護者の信頼を得ることもそのひとつであり、その為には適切な連携をとることが重要である。</p> <p>⑧ 卒業生・社会人 学校の評価は卒業生が業界で活躍することに直結する為、まずは卒業生の卒業後動向をしっかりと管理できる体制が必要である。その為の同窓会組織を作り、年に一回同窓会総会を実施して情報収集や卒業生間の交流を図っている。今年度に関しては、新型コロナウイルスの影響により開催延期となっている。</p>	<p>① 就職・デビュー 企業を学内へ招聘する「合同企業説明会」「新人発掘プレゼンテーション」等の就職、デビューサポートイベントを開催。また滋慶学園のスケールメリットを活かした「全国オンライン企業説明会」「全国オンラインオーディション」の実施でコロナ禍での就職・デビューに関しても更なる強化を図っている。その他、業界研修指導やオーディション対策まで学生の為のあらゆる支援として、キャリアセンターおよびデビューセンターが独自の活動を行っている。また全国の音楽系姉妹校との連携により就職、デビューの幅を広げさらに強化している。</p> <p>5月現在就職内定率90.9%。6月末希望者全員の就職決定を目指し支援継続中。デビュー希望者102名中13名(12.7%)の契約が決定。デビューに関しては昨今の業界の動向を踏まえデビュー定義を含め学園内で検討中である。</p> <p>② 退学率低減に向けて 2012年度から滋慶学園福岡8校で統一で運営し、滋慶トータルサポートセンター福岡として運営を行っている。ここは専用の場所を学校とは別の場所に設け、相談しやすい環境を整えている。また自習スペースもここに設けて、学校に登校出来ないような学生がここで学習することが出来る環境を整えている。必要であれば合理的配慮も徹底し行っている。</p> <p>2021年度は在籍者数410名に対し退学者数22名退学率5.4%での着地となった。1年生退学率に関しては多くの学科が7%以上と今後改善の必要があるため、学生サポートの考え方など基本の徹底を2022年度は重点目標として取り組んでいく必要がある。</p> <p>③ 経済支援 2019年5月10日に成立した「修学支援金制度(返済不要の給付型奨学金と授業料等減免)」の対象機関校として、入学生及び在学生の大きな支援となっている。</p> <p>④ 健康管理 慶生会クリニックは、学生であれば診療料は学生の健康管理費から負担される為、何度でも安心して受診することができる。</p> <p>⑥ 課外活動 姉妹校連携クラブ活動だけでなく、学生発案による同好会も発足しているが、コロナ禍により活動は鈍化している。</p> <p>⑦ 保護者との連携 担任制による生活面のサポートや学費・奨学金の専任担当者によるサポート、並びに電話等による報告を実施している。対面による面談が基本だが、コロナ禍の2021年度はオンライン保護者会を実施し、保護者との繋がりを適時且つ頻度を増やし連携を深めている。</p> <p>⑧ 卒業生・社会人 就職後の状況確認を行い、奨学金返還のサポートや再就職のサポートを実施している。また、全国の求人を姉妹校と連携しているため、広い視野での転職サポートも可能としている。</p>	3	<p>・退学対策もありますが、ヴォーカル担任の先生が個別面談を親身になってされています。結果として、それが学校への信頼にも繋がっているように思います。</p>
	17-1 退学率の低減が図られているか					
	18-1 学生相談に関する体制を整備しているか					
	18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか					
	19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか					
	19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか					
	19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか					
	19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか					
	20-1 保護者との連携体制を構築しているか					
	21-1 卒業生への支援体制を整備しているか					
21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか						
21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか						
6 教育環境	22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	<p>本校は、音楽・エンターテインメント業界で即戦力となり得る人材育成を目的としており、そのための知識・技能を身に付けるための授業に欠かせない実習室(施設・設備、機材等)の整備は重要であるが、協力企業より常に業界の動向についてアドバイス頂をきながら整備している。学内の教育環境に留まらず、学外の環境(インターンシップ、学外実習、海外実学研修)も重要であるためキャリアセンター、デビューセンター、教務部、国際部が一丸となって、その整備を行い、人材育成及び教育効果につなげている。</p> <p>また防災について教職員が常に災害を意識している。常に学園作成の防災マニュアルを作成。また安全衛生委員会を設置し安全確保のために問題解決に取り組んでいる。また教職員、学生の防災訓練を実施し、地震や火災等の際の避難訓練経路を確認するなど、でき得る限りの防災体制を整備しチェックしている。ガードマンを常駐により、学生の登下校時も含めた学校生活での安全面の強化にも努めている。</p>	<p>安全衛生委員会を中心に、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底。分散登校、入館時の検温、座席間隔、換気の徹底、マスクの着用、消毒液の設置、校内の消毒、殺菌機器設置、パネルの設置等。</p>	4	<p>・講師の立場としては、練習室やコミュニケーションスペースの少なさが気になります。</p> <p>・海外講師のオンラインレッスンが充実している。</p>
	23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか					
	24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか					
	24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか					

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
7 学生 の 募 集 と 受 け 入 れ	25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3	<p>高等学校への訪問に際し、本校の教育理念から実績など、資料をもとにしっかりと情報提供に取り組んでいる。また高等学校からの要望(質問)にも即座に回答するよう努めているが、学生の情報については個人情報保護法に基づき適切な対応をしている。</p> <p>本校は、福岡県専修学校各種学校協会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容(AO入試等も)を遵守している。また過大な広告を一切行わず、必要な場合は根拠数字を記載するなど、適切な学校募集ができるように配慮している。</p> <p>入学選考に関しては、出願受付および選考日を学生募集要項(または学校ホームページ)に明示し、決められた日程に実施しているが、入学選考後は「入学選考会議」により可否を決定する。なお本校における入学選考は、学生募集要項にも明示している通り「面接選考」および「書類選考」であるが、その基準となるのは「目的意識」である。将来目指す業界への職業意識や具体的な目標がしっかりしているかを確認すると共に、その目的が本校より提供する教育プログラムおよびカリキュラムにおいて実現可能かを確認するもので、入学試験という名称のもと学科試験(実技、筆記)を行うものではない。</p> <p>今年度は学校説明会、体験入学、入試面接もオンラインを利用しコロナ禍でも的確な対応の中で募集に取り組んだ。</p> <p>学納金や預かり金、教材等の見直しを毎年行っており、学費および諸経費の無駄な支出をチェックしている。保護者への授業料および諸経費の提示についても、入学前の段階において年間必要額を学生募集要項に明記し、基本的に期中で追加徴収を行わない。</p> <p>※今年度は全て新型コロナウイルスを意識し、感染対策を徹底した上で実施。</p>	<p>広報活動では「学校の考え方(コンセプト)」「授業や産学連携の取組み」「卒業生の活躍」その他、学校の特色を理解してもらうことに注力しながら、志望者に対し専門就職を果たしてもらうことを第一目標としているため、入学前に職業イメージをどれだけ明確になっているかが大切と考え、体験入学や説明会への複数回参加を促し、充分理解していただき疑問を解消した上で出願してもらうことを心がけている。</p> <p>【学生募集活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主にWeb、ガイダンスからの資料請求の獲得。 早期進路活動を行う高校2年生以下に対しても積極的な受入れを実施。 校内、会場ガイダンス等において、志望者に対してイベント参加を促し獲得。 高等学校からの信頼獲得の向上。(高等学校訪問、高校教諭への学校説明会、部活動支援等) <p>【入学選考】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路選択早期化に応じ、本人の意欲を重視するAO入学を実施。 出願者本来の目的意識を引き出すための面接を実施。 遠方からの出願者に向け、各地方選考会を開催。コロナ禍を考慮し、Web面接も実施。 <p>【学納金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集要項に卒業までに必要な学納金をすべて明示。 学費サポートプランの冊子を用意。 学費専門スタッフを配置し、個々の状況に応じた対応。 	3	<p>学生数は学科によって大きく差があり、順調に一定数の学生がいる学科もありますが、その中で特にプロミ楽器科の少なさを目にするものがあります。仲間が少ないことはもちろん学生達にとってもデメリットです。原因の一つとして私が感じていることですが、正直、配信実績や新人発掘実績など、FSMが広報の武器にできることは沢山あるのにHPなどに全く反映されておらず、HPの「FSMが選ばれる理由」という項目も果たして他校と差別化できている内容なのか疑問である、ということです。評価委員会ではHPの改善と最適化というお話がありましたので、何よりも学生の為に劇的な改善を期待したいです。</p> <p>・2年制と3.4年制との学習内容・到達目標などの差が明確になるよう、HP等のリニューアルを期待。</p> <p>・他専門学校と比較した時にやや学費が高く感じますが、実際に行っている授業内容、休日練習利用などを考えると決して高くないと思います。</p>
	25-2 学生募集を適切かつ効果的に 行っているか					
	26-1 入学選考基準を明確化し、適切 に運用しているか					
	26-2 入学選考に関する実績を把握 し、授業改善等に活用している か					
	27-1 経費内容に対応し、学納金を算 定しているか					
	27-2 入学辞退者に対し、授業料等に ついて、適正な取扱を行っている か					
8 財 務	28-1 学校及び法人運営の中長期的 な財務基盤は安定しているか	3	<p>【財務基盤】</p> <p>財務は学校運営を行う上で重要な要素の一つである。特に予算(収支計画)は学校運営に必要な不可欠なものであり、いかに予算が正確でかつ実現可能なものであるかが重要である。これについては、毎年事業計画書を作成し、5ヶ年の収支予算を立てている。</p> <p>その中で入学者数、在校生数、退学者等を勘案して学費明細を作成し、収入予算の推移を把握し、その中で入学者の減少があっても健全な学校運営ができるように安定した財務基盤が築けている。</p> <p>【予算・収支計画】</p> <p>予算の編成は、中・長期収入に応じたバランスで編成しており、整合性が図られている。また執行においても執行の規定を設け、適正な執行がなされており、予算項目ごとに予算が決められ、その項目予算が超過できない仕組みになっており、適切なチェック体制も整っている。</p> <p>【監査】</p> <p>会計監査についてであるが、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考え。監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。</p> <p>【財務情報の公開】</p> <p>財務情報公開については、2005年からの私立学校法の改正に基づき整備され、学校法人の財務情報公開を規定し、マニュアルに即した形で行っている。また認定を受けた職業実践専門課程の財務情報公開も適切に行っている。</p>	<p>予算を正確かつ実現可能にするために以下のような取り組みを行っている。</p> <p>① 単年度の予算を綿密に作成している。予算は事業計画の時点で、各部署ごとの予算から予算項目別に細かく分類し、執行に関しても全て事前に事務局長承認と運営部長承認が必要で、金額によっては本部承認を得る流れとなっている。また消化金額は毎月の学内チェックと、サポート企業による3ヶ月ごとの修正と評価を受ける。</p> <p>② 中長期(5ヶ年)での予算計画も組まれており、特に設備造作における改装や改築などの大掛かりな支出が想定されるものは長期で計画を行っている。</p> <p>また、私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。</p> <p>「財務情報の公開」については、規程と「情報公開マニュアル」に則して、情報公開に対処している点が特徴として挙げることができる。</p>	4	
	28-2 学校及び法人運営に係る主要な 財務数値に関する財務分析を 行っているか					
	29-1 教育目標との整合性を図り、単 年度予算、中期計画を策定して いるか					
	29-2 予算及び計画に基づき、適正に 執行管理を行っているか					
	30-1 私立学校法及び寄附行為に基 づき、適切に監査を実施してい るか					
	31-1 私立学校法に基づく財務公開体 制を整備し、適切に運用してい るか					

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
9 法令等の遵守	32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	<p>法令遵守については、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。法人理事会のもとにコンプライアンス委員会で学校運営が適切かどうかを判断し、また学校運営(学科運営)が適切かどうかは次の各調査等においてチェックできるようにしており、評価結果、教育情報の情報公開を行っている。</p> <p>① 学校法人調査 ② 自己点検・自己評価 ③ 学校基礎調査 ④ 専修学校各種学校調査 ⑤ 学校施設認定規則に基づく報告等である。</p> <p>また組織体制強化やシステム構築の為に、以下のようなシステムならびに組織体制の運営がなされている。</p> <p>■組織体制 ① 財務情報公開体制(学校法人) ② 個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③ 広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④ 進路変更委員会(滋慶学園グループ)</p> <p>■管理システム ① 個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ② 建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③ 防災管理システム(滋慶学園グループ) ④ 機材購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤ コンピューター管理システム(滋慶学園グループ)</p> <p>滋慶学園というグループ力、スケールメリットを活かし、各委員会、体制、システムを構築、稼働させることで、各学校が健全に運営できるようにしている。法令や設置基準の遵守に対する方針は明確化されており、体制作りについては完全に整備されている。</p>	<p>法令や専修学校設置基準の遵守に対する方針は、文章化し法令や設置基準の遵守に対応する体制作りを整備している。</p> <p>教職員へは、法令や設置基準の遵守に関する教育または研修を実施し、周知徹底を図っており、今後も継続して行う。</p> <p>本校は、一般社団法人 日本プライバシー認証機構「TRUST-e※」の国際規定の認証を受けている。また、職業実践専門課程の規定ならびに滋慶学園の情報公開規定に則り公開していき、情報公開の方法はホームページへの掲載を通じて広く社会に公開できている。保護の観点から個人情報保護委員会を設置し、対策をとっている。教職員には教育と研修を通じて周知徹底できている。学内のネットワークに関しては、情報の漏洩が生じないよう、アクセス権の設定やグループ内サポート企業のみでの使用措置をとっている。</p> <p>法令や設置基準の遵守に対する方針は明文化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは完全に整備できている。更に学校評価に関しては「職業実践専門課程」の認定に際し、学校関係者評価委員会の設置がなされており、適切に評価を受け、また適切に情報公開もなされている。</p> <p>※TRUST-e：インターネット上のウェブサイトユーザとの信頼関係を築くこと。またそれを実現する事によって、インターネット業界の更なる発展を目的とした、米国のカリフォルニアの非営利団体。 学内委員会として、コンプライアンス委員会、監事会、個人情報保護委員会、広告倫理委員会等を設置し法令の遵守に努めている。</p>	4	
	33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか					
	34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか					
	34-2 自己評価結果を公表しているか					
	34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか					
	34-4 学校関係者評価結果を公表しているか					
35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか						
10 社会貢献	36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	<p>本校には、滋慶学園グループの「4つの信頼」(① 学生・保護者からの信頼 ② 産業界からの信頼 ③ 高等学校からの信頼 ④ 地域からの信頼)というコンセプトがある。この「4つの信頼」の獲得を目指すことが社会貢献に繋がると考えている。例えば、行政や業界企業とタイアップして行う「骨髄移植推進キャンペーンミュージカル」の制作と公演。また地域の方々を対象とした学園祭での交流、あるいは地域の方々で行う防犯活動や清掃活動等々を通じ「業界からの信頼」「地域からの信頼」に繋がっている。また、在校生が高等学校からの依頼で行う文化祭の運営支援や芸術鑑賞会は高等学校より好評を得ており、スタッフや本校講師が高校へ向いて行う特別講義等では、その高い専門性と職業観向上の講義内容から「高等学校からの信頼」に繋がっている。滋慶学園グループが推進する「地球温暖化防止対策」運動では、節電、冷房温度28度設定、階段利用(2アップ3ダウン)や、イベント等におけるゴミ削減、資源有効利用等々は、学生本人のみならず来校された保護者の方々からも高い評価を頂戴し「学生・保護者からの信頼」に繋がっている。特別なことをするわけではなく、滋慶学園グループが掲げる「4つの信頼」の獲得を目指すことで社会貢献に努めている。</p> <p>※ 今年度は新型コロナウイルスにより、ほとんどの活動を自粛。その中で、感染対策を充分考慮した上で「骨髄移植推進キャンペーンミュージカル」は開催。</p>	<p>教職員および学生たちが、常に社会貢献を意識した活動を行っている。例えば、① 業界企業とタイアップして行う各種音楽・エンターテインメントイベント、② テレビ局や地域と協力して行う県民・市民イベント、③ 大浜地区で開催される、地域のお祭り「みんなの大浜祭り」や大浜公民館で開催される文化祭サポート、また各種団体からの依頼で取り組むがん患者様とイベント「リレーフォーライフ」、⑤ NPO法人など各団体とともに行う「骨髄移植推進活動」、⑥ 学校や教育機関等に出張して行う「芸術鑑賞会」、⑦ 地域の方々も対象とした「滋慶学園学園祭」、⑧ 近隣公園の清掃等々年間を通じ、教職員や各専攻の学生たちがそれぞれ特徴を活かし、幅広く、かつ意義のある活動を行っている。(※今年度は新型コロナウイルスにより、ほとんどの活動を自粛。)</p> <p>それらの活動が「学生・保護者からの信頼」「産業界からの信頼」「高校からの信頼」「地域からの信頼」という滋慶学園グループの「4つの信頼」獲得に繋がり、その結果が社会貢献を果たすことに繋がっている。今後は、学校の施設や教育ノウハウ等を更に活かし、多様な社会貢献へ発展させていく考えである。</p>	3	<p>・よい取り組みをされています。</p> <p>・今後地域イベントが復活したさいには、是非学生の参加を期待したい。</p>
	36-2 国際交流に取り組んでいるか					
	37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか					